

退院をしたばかりで不安な方  
当院にご相談下さい

# 外来リハビリの ご案内

## 外来リハビリテーション開始までの流れ

1

### 受付

医療相談室へお問い合わせください。  
外来受診日を調整します。

2

### 受診

医師がリハビリテーションの必要性があると判断した場合、リハビリテーションの処方が出ます。

3

### 開始

リハビリテーション担当者が決定。  
リハビリテーション開始となります。

## 受診に必要な物

- ①健康保険証
- ②各種医療受給者証（お持ちの方）
- ③紹介状（他院入院や通院してる方は必須）
- ④リハビリ報告書（お持ちの方）
- ⑤画像データ（レントゲンやMRI・CT画像など）



脳卒中後のリハビリテーションや呼吸リハビリテーション、運動器リハビリテーションに力を入れて取り組んでいます。

職場復帰を目指したい方のご相談にも乗っています。

お問い合わせ（月～土曜 9時～17時30分）

直通TEL 0428-20-0288 医療相談室 渡邊・中田・古市

# 外来リハビリの紹介

## <外来リハビリの特徴>



- 医師の指示によりリハビリテーションを提供します。
- 担当の“専門職”がご状態に合わせた目標や訓練プログラムを立案します。
- お困りのことに対して評価・治療・助言・指導をさせていただきます。
- 1回40～60分（最大120分）
- 回数は週1から（最大週5回）。  
症状ごと都合に合わせて決めていきます。

### ★専門職とは・・・

- 理学療法士（6名）：除痛、運動指導、体力・筋力強化、転倒予防指導 など
- 作業療法士（1名）：日常生活動作の指導、復職支援 など
- 言語聴覚士（2名）：構音障害、言語障害、嚥下障害 など

## <外来リハビリ対象疾患>

脳血管疾患	脳出血、脳梗塞、頭部外傷、脳腫瘍、高次脳機能障害、パーキンソン病、脊髄小脳変性症など	〔リハビリ期間〕 発症から180日
運動器疾患	体幹・上下肢の骨折・外傷、慢性疾患の術後、変形性腰椎症、変形性膝関節症、脊柱管狭窄症など	発症から150日
廃用症候群	外科的術後や肺炎後など長期間の安静臥床に伴い心身機能に生じた様ざまな症状	発症から120日
呼吸器疾患	急性発症した肺炎・無気肺、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、気管支喘息など	発症から90日

※介護保険サービスでリハビリを行っている方は併用できません。

## <こんな症状でお困りの方>

- ☑ 身体が思うように動かない
- ☑ 最近つまづくことが多い
- ☑ 長い距離歩くと息切れする
- ☑ 痛みがあり、生活が大変
- ☑ 飲み込みづらい、むせることがある
- ☑ 地元でリハビリを続けたい
- ☑ ことばが出ない、  
文字が書けない、読めない
- ☑ 効果的な自主トレーニング方法がわからない

どうしていいのかわからない。  
行っていいのかわからない、  
お気軽に問い合わせ下さい。

お問い合わせ

直通TEL：

0428-20-0288

医療相談室 渡邊・中田・古市